

平成24年度

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成23年度事業)

<目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	20
5 教育委員会の活動状況と評価	22
6 評価懇話会委員の意見等	25
7 おわりに	25
※ 資料（各所属の評価結果）	26

平成24年8月1日

飯能市教育委員会

## 1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表しなければならないことになりました。

この報告書は、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が同法の規定に基づき、毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成23年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をとりまとめたものです。

## 2 点検評価の基本方針

### (1) 目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

### (2) 点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

また、点検及び評価を通じて事業の成果等を明らかにするとともに、課題や今後の取組の方向性を明確にすることを目的としています。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から、学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており、これを受け教育委員会では学識経験者等で構成する「飯能市教育委員会評価懇話会」を設置し、毎年度2回開催しています。平成23年度の教育行政の重点施策の評価については、平成23年10月12日に開催した評価懇話会において、中間報告についてのご意見をいただき、平成24年4月23日には、評価結果に対するご意見をいただきました。

## <飯能市教育委員会評価懇話会委員>

(任期：平成23年4月1日～平成25年3月31日)

会 長	増 田 時 夫	職務代理者	金 井 修 子
委 員	落 合 慎 一	委 員	本 橋 萬 智 子

### 3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成23年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成23年度の事業名と結果を表記しました。

#### <平成23年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

目 標 「飯能を愛し、夢や希望をもち明るく元気に学び実践する人づくり」

合 言 葉 「共育」 —自主・責任・連携—

基本方針

- |  |
|--|
| I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます                   |
| II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます                  |
| III 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます |
| IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます               |
| V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます                |

# I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます

## 1 生きる力を育成する教育指導の充実

### (1) 確かな学力を育む教育の充実

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
- ・小学校新学習指導要領完全実施を着実に進めます。
  - ・中学校新学習指導要領移行措置を着実に進めます。
  - ・K4KID宣言<sup>\*</sup>に基づき、指導内容・指導方法の工夫改善を進めます。

<sup>\*</sup>K4KID宣言とは、学校と家庭・地域が連携して取り組むことを目指した、飯能市独自の学力向上のための宣言。授業改善の視点K4（課題・活動・確認・価値）と家庭での取組KID（家庭学習・あいさつ・読書）を明示した。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		学力に関する課題である「活用する力」を重点として、学校と家庭、地域が連携して取り組み学力を向上させる。	<b>&lt;達成率 99%&gt;</b> ・「教育に関する3つの達成目標」前年度比向上校 小中全体で69.2%達成	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> 目標をほぼ達成できたので期待どおり。
事業名	H22からの継続目標 学力向上プロジェクト			

### ② 学習状況を把握し改善に向けた取組の推進

- ・「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」「教育に関する3つの達成目標」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

### (2) 社会の変化に対応した教育内容の充実

#### ① 伝統と文化を尊重する教育の推進

- ・郷土飯能の先人に学ぶ副読本の作成を行い、郷土を愛する心の育成を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		先人の努力や生き方について学ぶ郷土学習資料を作成し小学校に配布する。	<b>&lt;達成率105%&gt;</b> ・郷土学習資料の配布完了 ・指導略案集も発行、期待以上の成果	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 指導略案集も発行したので期待を上回る。
事業名	H22からの継続目標 郷土学習資料の作成			

#### ② 国際理解教育の推進

- ・豊かな国際性を身に付ける国際理解教育を進めます。

#### ③ 環境教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

- ④ 情報教育の推進
  - ・情報機器を整備し、情報活用能力と情報モラルの育成を進めます。
- ⑤ キャリア教育の推進
  - ・生き方指導としての進路指導・キャリア教育を進めます。

### (3) 心の教育の充実

- ① 人権教育の推進
  - ・基本的人権を尊重する教育を進めます。
- ② 道徳教育の推進
  - ・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」というあいさつと感謝の言葉がかかわるような子どもの育成を進めます。
  - ・道徳教育推進教師を中心とした、学校教育活動全体での道徳教育を進めます。
- ③ 教育相談活動の推進
  - ・児童生徒一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談を進めます。
- ④ ボランティア・福祉教育の推進
  - ・ボランティア・福祉教育にかかわる教育活動を進めます。
- ⑤ 特別支援教育の推進
  - ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育を進めます。

### (4) 健康・体力の増進と安全教育の充実

- ① 健やかな体を育む教育の推進
  - ・「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、子どもの生活リズムの向上を進めます。
  - ・体力・健康に関する指導についての研究を実践し、その成果を各学校に広め体力向上を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		新体力テストの総合評価を向上させる。	<b>&lt;達成率 90%&gt;</b>	<b>&lt;B評価&gt;</b>
事業名	H22からの継続目標  体力向上の推進			
			・新体力テストの各学校の総合評価が県目標値を上回った校数は64%	達成目標を概ね達成したので期待どおり。
			・H23重点取組種目 小：反復横とび、シャトルランとも県平均と同程度に向上 中：握力、上体起こしとも県平均と同程度に向上	

- ② 安全教育の推進
  - ・自他の生命を尊重する安全教育を進めます。
- ③ 食育の推進
  - ・学校給食における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

## 2 幼稚園・学校経営の充実

### (1) 特色ある学校づくりの充実

#### ① 学習林活用教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。【再掲】

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	環境教育、キャリア教育等と関連させた学習林活用教育を実施させる。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・学習林活用フォーラム、森林文化サミットの成果発表は期待どおり完了 ・一中が名栗元気プラザで間伐作業を実施し、その材でベンチを作成、公民館に寄贈	<b>&lt;B評価&gt;</b> 達成目標を概ね達成したので期待どおり。
<b>H22からの継続目標</b> 事業名 学習林活用教育推進事業			

#### ② 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。

#### ③ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- ・各学校の学校応援団を整備し、学校応援団を活用した連携を進めます。

#### ④ 地域との交流を生かした幼稚園教育の推進

- ・地域の人材や施設を活用した教育活動を進めます。

### (2) 校種間連携の充実

#### ① 幼稚園、保育所、小学校の連携の推進

- ・幼保小の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。

#### ② 小学校、中学校の連携の推進

- ・小学校、中学校の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした連携を進めます。
- ・授業を通じた連携を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	全中学校区で小中連携プランに基づいた事業を実施させる。	<b>&lt;達成率 75%&gt;</b> ・小中連携プランの作成6校中3校（50%達成） ・各中学校区の連携事業は年3回実施（100%達成）	<b>&lt;C評価&gt;</b> 連携プランの作成が半数のため期待をやや下回る。
<b>H22からの継続目標</b> 事業名 校区の課題を明確にした連携			

#### ③ 中学校、高等学校の連携の推進

- ・上級学校訪問を充実します。

### (3) 小規模校における教育活動の充実

#### ① 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。【再掲】

#### ② 小規模特認校制度の推進

- ・制度の周知方法を工夫し、制度の利用増を図ります。
- ③ 複式学級設置校の教育課程の工夫の推進
- ・学校間交流を取り入れた授業を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		複式学級における教育活動を充実させる。	<b>&lt;達成率105%&gt;</b> ・吾野小、東吾野小、西川小の6年生が西川小、吾野小に集まり、2回の合同授業を実施 ・西川小の合同授業では、吾野中英語担当及びAETによる外国語活動の授業も実施 ・各学校で、複式学級のよさを活かした教育課程を編成	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 合同授業やH24教育課程の編成が実施できたので期待を上回る。
事業名	新規目標  学校間交流の推進			

### 3 教職員の資質の向上

#### (1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

##### ① 職責に応じた研修の推進

- ・教職員の指導力の向上を図るため、教育センター研修を計画的に進めます。
- ・教職員倫理の確立のため、事故防止委員会を中心とした取組を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		教育活動改善の意欲がわく研修を実施する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・のべ65回、919人参加の研修会実施 ・全研修会参加者の評価 4.6 ・新規研修会の理、数に関する希望研修会は評価 4.6	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> 評価結果が目標値に達したので期待どおり。
事業名	H22からの継続目標  教育センター研修の実施			

##### ② 外部機関との連携による研修の推進

- ・市内の大学と連携し、専門的な指導力の向上を図る研修を進めます。

#### (2) 人事評価制度の充実

##### ① 教職員評価システムの推進

- ・人事評価に関する研修を実施し、教職員評価システムの信頼性を高め学校の活性化を進めます。

## II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます

### 1 学校施設の整備

#### (1) 学校施設の整備の推進

##### ① 校舎等の耐震化の推進

- ・耐震補強事業を推進します。(耐震補強工事、耐震補強設計業務)

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	平成22年度に実施(西中校舎については、平成23年度に繰越)した耐震診断の判定結果に基づき、小・中学校耐震化計画を見直し、実施計画、予算に反映させる。	<b>&lt;達成率 95%&gt;</b> 平成27年度までの校舎5校、屋体7校の耐震化計画をほぼ予定どおり実施計画に位置づけた。国の3次補正予算を活用することで、24年3月補正予算で24年度に実施する耐震工事は予算を確保した。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> ほぼ予定どおり実施計画に位置付けたので期待どおり。
事業名 H22からの継続目標 小学校耐震補強事業 中学校耐震補強事業			

##### ② 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ・施設の老朽化に対し、計画的な改修を進めます。(南高麗小学校改修工事、空調設備の修繕、多目的トイレの設置)

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	平成22年度からの繰越となっている南高麗小学校校舎耐震補強改修工事及び西川小学校と名栗中学校の空調機設置工事を、事故なく計画通りに完了させる。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> 南高麗小学校校舎耐震補強改修工事、西川小及び名栗中の空調機設置工事ともに予定どおり完了した。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> 予定どおり工事が完了したので期待どおり。
事業名 新規目標 南高麗小学校耐震補強改修事業ほか			

##### ③ 社会の変化に応じた学習環境の整備

- ・小学校通学バスの運行を確保します。(原市場小学校、吾野小学校)
- ・学校給食の民間委託を実施するための方針を定めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	原市場小、吾野小の通学バスの委託の方針を決め、24年度予算要求及び契約手続に備える。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> 国際興業(株)飯能営業所の撤退の表明を受け、2年間の長期継続契約による随意契約を行うこととし、4月から運行できる体制を整えた。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> 平成24年度から2年間の委託契約の準備を整えたので期待どおり。
事業名 新規目標 小学校通学バス運行事業			



関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	学校給食検討委員会報告書の結論を実行するための委託導入方針の作成をする。	<達成率100%>	<B評価>
新規目標			
事業名 学校給食民間委託事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月から月1回の学校給食委託検討会を開催し、委託に対する問題点の検討及び対象校を選定した。</li> <li>・ 埼玉労働局と事前に協議し仕様書を作成した。</li> <li>・ 平成24年1月定例会において平成25年4月から委託する3校を提案し議決をいただいた。</li> </ul>	委託の方針と委託する3校が決定したので期待どおり。

## 2 就学援助の推進

### (1) 就学援助の推進

#### ① 高額な通学費への支援

- ・ 保護者負担を軽減するための「飯能市高等学校等通学費補助金」を実施します。

### Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組めます

#### 1 家庭教育・地域教育の推進

##### (1) 家庭教育・地域教育の推進

###### ① 家庭の教育力の向上

- ・あいさつと感謝のできる子を育てるとともに、「早寝、早起き、朝ごはん」を広めるための啓発を市民とともに進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	子どもたちの自主性、社会性及び忍耐力を養うとともに、集団生活を送る中で基本的な生活習慣を身に付ける。	<b>&lt;達成率110%&gt;</b> 定着率調査の結果、あいさつ92%、感謝92%、早寝100%となり通学合宿事業の成果があった。 また、24年度は双柳小児童を対象に実施することで小学校および公民館に了解をいただいた。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> アンケートによる定着率が目標を超えたので期待を上回る。
H22からの継続目標			
事業名 通学合宿における早寝早起き朝ごはん等の実践			

### Ⅳ 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます

#### 1 生涯学習推進体制の整備

##### (1) 学習環境の整備

###### ① 学習環境の整備

- ・時代の変化や多様な学習ニーズに応えられる新図書館の建設に着手します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	時代の変化や多様な学習ニーズに応えられる新図書館建設に着手する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・10月に建築工事、電気設備工事、機械設備工事の入札を行った。2件の入札が成立し、本体の建築工事が不調であったが、3回目の入札で成立となった。2月臨時議会で契約承認により、業者間の打合せを行い当初からの工期で終了できるようスケジュールを組むことができた。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> 2月臨時議会で契約が承認されたので期待どおり。
新規目標			
事業名 新図書館建設に着手する			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		新図書館開館に向けてサービス・運営計画を作成する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	新規目標 新図書館サービス・運営計画の策定		職員意見を反映し、11月と3月の図書館協議会へ諮り意見をいただき骨子案としてまとめた。	骨子案をまとめたので期待どおり。

## ② 学習情報の提供

- ・市の広報やホームページ、公民館だよりのほか地元新聞やケーブルテレビ等を活用し、幅広く学習情報を提供します。

## (2) 生涯学習ネットワークの構築

### ① 教育機関との連携

- ・多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

## 2 生涯学習機会の充実

### (1) ライフステージに応じた学習機会の充実

#### ① 多様な学習機会の充実

- ・市の専門的知識を提供することにより市民の生涯学習の一助とするとともに、市民の積極的なまちづくりの参加を促すため、生涯学習出前講座を実施します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		職員が専門的知識を提供することにより市民の生涯学習の一助とするとともに、市民の積極的なまちづくりの参加を促す。	<達成率110%>	<A評価>
事業名	H22からの継続目標 生涯学習出前講座の実施		PRを継続し、より幅広い利用と庁内各課の協力が得られ、利用数が伸びる形となった。23年度の利用数は59回で目標を大きく上回った。希望の多いテーマは防犯のまちづくり、市街地活性化、文化財の出張授業等である。	達成目標を超える利用件数があったので期待を上回る。

## ② 公民館活動の充実

- ・市民と行政による協働のまちづくりの実現に向け、公民館を生涯学習拠点として充実します。
- ・健康づくり、防災、防犯、地域福祉等を推進し、地域コミュニティの拠点施設として充実します。

- ・地域のニーズや社会の変化に応じた学級講座を開設します。
- ・グループ活動など、自主的な活動を支援します。
- ・老朽化している公民館を安全で使いやすい施設への整備を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館調整担当	災害時において、 現地災害対策本部や 避難所として公民館 及び学校体育館が速 やかに機能するよう にする。	<b>&lt;達成率 95%&gt;</b>  各公民館において、 災害対応マニュアルを 作成し、災害時の対応 チェックシートを基に 職員の災害対応への意 識向上を行うことがで きた。 また、館長会議及び 担当者会議で、通算8回 にわたり災害に関する 研修等を行った。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b>  チェックシートを基 に職員の意識向上がで きたので期待どおり。
H22からの継続目標  事業名 公民館における防 災・防犯対策			
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館調整担当	市民が健康づくり 事業に、参加しやす くなるような方を講 じる。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b>  スゴ足イベント指定 事業が見直され、参加 人員の増員が図られ内 容は充実したものと なった。 地域団体、関係課と 公民館の連携が、うま くいき更にウォーキン グ人口の増員が期待で きる。 参加者人数7,131人 (前年度6,926人) <3月 末現在>	<b>&lt; B 評価 &gt;</b>  ウォーキング参加者 が増えたので期待どお り。
H22からの継続目標  事業名 公民館における健康 づくり推進事業			
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館調整担当	公民館を生涯学習 及び地域コミュニ ティの拠点施設とす る。	<b>&lt;達成率 95%&gt;</b>  地区行政センターの 設置・運営の審議が、 行政経営会議で行われ、 公民館運営審議会 に諮問し答申を受け、 教育委員会定例会で議 決を得た。3月市議会定 例会に地区行政セン ター設置条例(案)と 公民館設置及び管理条 例の一部改正(案)が 可決された。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b>  地区行政センターの 設置が決定したので期 待どおり。
H22からの継続目標  事業名 公民館の活用と今後 のあり方に関する検 討			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		地域のニーズや社会の変化に応じた講座を開催することにより、生涯学習の拠点施設としての充実を図る。	<達成率 95%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 学級講座の充実		東日本大震災の影響で、休館等があったにも関わらず、各館とも講座開催ができた。新たな視点から講座の見直しにも取り組まれた。	各公民館で講座が開催できたので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		市民が心身ともに元気に地域活動に参加できるよう、地域住民の健康増進を図る。	<達成率100%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 健康増進講座の充実		ウォーキング事業については、定着化が進み、更なる広がりも期待される。他事業とのタイアップや他の健康体力づくり事業の実施がなされた。	ウォーキング事業が定着してきたので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		災害時を想定した公民館の運営、管理の体制づくりを進める。	<達成率 95%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 災害対策の充実		地震に特化したマニュアルを各館とも整備した。また、避難所運営訓練も実施する等、職員、利用者、地区住民の防災意識の高まりに応じることができた。	地震対応マニュアルを作成し、避難所運営訓練を実施したので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設としての位置づけを確立する。	<達成率 95%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 地域拠点施設としての整備・充実		公民館の方向性については、公民館運営審議会、教育委員会内部、館長会議、担当者会議等での説明を経て、答申、意見表明、要望等を行った。	公民館の方向性が決まったので期待どおり。

### ③ 図書館活動の充実

- ・ 図書資料、視聴覚資料の収集・整備を進めます。
- ・ 月曜日月 1 回の開館、開館時間の延長等を充実させ、図書資料の受渡し、返却サービスを検討し利用者サービスを向上させます。
- ・ 「飯能市子ども読書活動推進計画」の活用と推進を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		<p>・新図書館開館に向けて資料の見直しをし、地階書庫内の資料の整理をする。</p> <p>・視聴覚資料の収集について検討し整備を進める。</p>	<達成率105%>	< A 評価 >
事業名	H22からの継続目標 図書資料、視聴覚資料収集整備を推進		<p>・書庫の資料を整理し、不要の分類をし、寄贈されていた本の整理も行い10月と2月に市民への無料配布を行った。総冊数は1,108冊であった。24年度予算に視聴覚資料を予算化することができた。</p>	寄贈された本の整理もできたので期待を上回る。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		<p>月曜日を月1回開館し、市立図書館、こども図書館等の年間トータルでの利用者数、貸出冊数を昨年度より増加させる。</p>	<達成率 95%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 休館日の月曜日を月1回開館し利用者サービスに努める		<p>東日本大震災の影響による節電等に伴い、開館日、開館時間に減少が生じ、結果として利用者数、貸出冊数が前年度比較、目標値比較共に減となってしまった。</p> <p>利用者数 71,413人 (目標値比 97.1%) 貸出冊数 311,821冊 (目標値比 95.9%)</p>	概ね目標値に達したので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		<p>図書資料の受渡し、返却サービスを検討し、利用者サービスを向上する。</p>	<達成率100%>	< B 評価 >
事業名	新規目標 図書資料の受渡し、返却サービスの検討		<p>市民活動センターでの資料受渡しサービスは順調に利用いただいている。</p> <p>3月末で319件526冊の利用があった。</p>	市民活動センターでの利用が順調であったので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		<p>子ども読書活動推進のための各事業ごとの取組計画を実践する。</p>	<達成率105%>	< A 評価 >
事業名	H22からの継続目標 「飯能市子ども読書活動推進計画」に基いた計画の活用と推進		<p>移動図書館車の巡回に小学校乗り入れを2校組み入れたこと、学校訪問は4校に、こども図書館訪問は幼稚園3園、小学校3校からあり読書活動の活発化が図られた。</p>	幼稚園、小学校読書活動の活発化が図れたので期待を上回る。

## (2) 現代的課題に関する学習機会の充実

### ① 人権に関する学習機会の充実

- ・ 様々な人権問題についての理解を深めるための講座を開催するとともに、地域で人権意識の高揚と啓発を行うための指導者育成を進めます。

## 3 地域学習の充実

### (1) 市民文化活動の推進

#### ① 市民文化活動の奨励

- ・ 市民文化活動の推進役である飯能市文化協会とともに、各文化団体の活動を支援します。

### (2) 自然・歴史・文化遺産の継承と活用

#### ① 地域資料の調査、保存と活用

- ・ 植物調査を実施し、市内の植物生育状況を把握します。種、群落の調査を実施します。
- ・ 文化財マップ、飯能の指定文化財を活用した文化財めぐりを実施し、市民が文化財に親しむ土壌を作ります。
- ・ 埋蔵文化財出土品の普及活用を図ります。埋蔵文化財出土品の展示、小中学校へ出張授業、中学生の社会体験チャレンジの受け入れ、発掘調査現場での説明会などを通して実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	市民の文化財への関心を高めるため、市内の文化財めぐりを実施する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> 夏休み中に親子文化財めぐりを実施し、一般市民対象の文化財めぐりを3月に実施した。参加者に指定文化財をはじめとする身近な文化財を学習してもらった。また文化財マップや指定文化財冊子を学習資料として参加者に配付した。	<b>&lt;B評価&gt;</b> 文化財めぐりを実施したので期待どおり。
事業名 H22からの継続目標 文化遺産の普及活用			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		埋蔵文化財活用の継続性を図るため、展示コーナーの現状を改める。	<b>&lt;達成率110%&gt;</b> 予定していた施設の展示については、展示替えや展示の充実等が予定通り実施することができた。また、年度当初に予定はなかったが、発掘調査の現地説明会を開催することができ、多くの市民に身近な歴史に触れる機会を創出することができた。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 発掘調査の現地説明会を実施したので期待を上回る。
事業名	H22からの継続目標 埋蔵文化財の展示活用			

## ② 郷土館活動の充実

- ・ 名栗民俗資料室の資料の活用を進めます。
- ・ 地域資料情報としての行政刊行物のリストを作成し、必要な刊行物を収集します。
- ・ ホームページに飯能の昭和史年表を掲載するなど、市民が活用・検索できる情報発信を進めます。
- ・ 郷土館で保存している写真のデジタルデータを整理してハードディスクに記録し、館内で情報が共有できる態勢づくりを進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		飯能市発行のすべての行政刊行物リストを作成し、必要な刊行物を収集する。	<b>&lt;達成率 90%&gt;</b> 行政刊行物リストを作成し、保管していない刊行物を90%収集した。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> リストを作成し、刊行物の収集ができたので期待どおり。
事業名	新規目標 地域資料情報の計画的な収集			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		郷土館ホームページに飯能市昭和史年表を掲載するなど、市民が活用・検索できる情報発信をすすめる。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> データのデジタル化を終了し、飯能市昭和史年表をホームページに掲載した。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> ホームページに掲載したので期待どおり。
事業名	H22からの継続目標 地域に関する情報発信の推進			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		館内で各自が個別に保存している写真などのデジタルデータ等を整理してハードディスクに記録し、館内での情報共有ができるようにする。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> 各自のデータを整理し、ハードディスクに記録した。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> データを整理し、ハードディスクに記録したので期待どおり。
事業名	新規目標 地域資料情報の整理・共有化			



関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		名栗民俗資料室の資料を整理・選別し、別の施設に移し、その活用方針を定める。	<達成率 75%>	<C評価>
事業名	新規目標 収蔵環境の整備		保存すべき資料を全て移動した。活用方針を検討中である。	活用方針は検討中のため期待をやや下回る。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		特別展「飯能戦争」(仮称)を多くの人に見ていただくとともに、来館者が満足できる内容とする。	<達成率120%>	<S評価>
事業名	H22からの継続目標 特別展の充実		のべ7260人、1日平均154.5人の入館者があった。アンケートの満足度は80%である。図録は期間内に完売し、増刷した。	入館者数が目標以上で、満足度も高く図録の増刷もしたので期待を顕著に上回る。

### ③ 市民主体による地域活動の支援

- ・郷土芸能保存会による伝統芸能の活動や郷土芸能講習会の開催を通して、市民自らが地域の歴史や文化を伝承できるよう活動を支援します。

## 4 学習成果の還元

### (1) 人材の養成・団体への支援

#### ① 指導者登録制度の充実と活用

- ・市民の様々な学習要求に応えるため、生涯学習人材バンクを設置します。

#### ② 人材の養成と活用

- ・様々な市民活動の活性化を図るため、リーダーの育成を進めます。

### (2) 学習成果を生かすしくみの整備

#### ① 発表の場の提供・充実

- ・市民の学習活動の成果発表の場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		青少年健全育成および子ども体験の要素を加え、世代を超えた相乗効果を図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	<達成率100%>	<B評価>
事業名	H22からの継続目標 生涯学習フェスティバルの実施		天候が悪い中での開催であったが、内容を工夫・充実させたこともあり来場者は前年度の約55%増(一般来場者239人)となり、アンケートの結果でも「良かった」の回答が70%であった。	達成目標を概ね達成したので期待どおり。

## V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます

### 1 健康体力づくり事業の充実

#### (1) 公民館を拠点とした活動の推進

##### ① ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進

- ・ 公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	H22からの継続目標 ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各講座について公民館との共催により、予定どおり開催し、90%以上の参加者を得られた。</li> <li>・ 市民健康ウォークメイン大会を、精明地区・飯能中央で開催し、好評であった。</li> <li>・ 市ホームページを利用し、健康づくり事業のPRを行っている。</li> <li>・ 公民館主催のウォーキング行事への指導員派遣</li> </ul>	達成目標以上の参加者があったので期待を上回る。

#### (2) スポーツイベントの充実

##### ① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ・ 全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、運営方法の改善、コース整備などを実施し、安全で快適な大会を目指します。また、第10回大会に向けて準備を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適な大会を実施する。また、第10回大会に向けた企画案を策定する。	<達成率110%>	< A 評価 >
事業名	H22からの継続目標 飯能新緑ツーデーマーチ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第10回大会の吾野コースを中心に、コース部会によるコース下見及び改善を実施した。</li> <li>・ 第9回大会の反省を活かしながら、第10回大会が記念大会としてスムーズ且つ盛大に開催できるよう準備を進めている</li> </ul>	予定どおり大会を開催し、吾野コースの準備もできたので期待を上回る。

② 奥むさし駅伝競走大会

- ・参加チームが安心して走れる環境を整えるとともに、早い段階から関係団体等と協議を進め、市民に感動と活力を与えるよう更なる充実を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。また、第10回大会に向けた企画案を策定する。	<b>&lt;達成率120%&gt;</b> ・第10回大会の企画として、特別ゲスト、有名選手、チームを迎え、記念大会を盛り上げることができた。 ・関係各位の協力により、競技上の事故も無く、多くの観客の応援もあり、盛大に開催することができた。 ・出場チームの上限220チームに対し、268チームの応募があった。	<b>&lt;S評価&gt;</b> 有名選手、チームの参加により盛大に開催できたので期待を顕著に上回る。
事業名	H22からの継続目標 奥むさし駅伝競走大会			

(3) 生涯スポーツ推進体制の整備

① ホッケーのまちづくり

- ・ホッケーが市民スポーツとして更に盛んになるよう、小・中学校巡回ホッケー教室等の普及事業やPR活動を実施し、『ホッケーのまち はんのう』を推進します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		ホッケーが市民スポーツとして更に盛んになるよう、小・中学校巡回ホッケー教室等の普及事業やPR活動を実施し、『ホッケーのまち はんのう』を推進する。	<b>&lt;達成率105%&gt;</b> ・巡回ホッケー教室 小学校：7校 中学校：1校 目標値の達成には至らなかった。 ・市ホームページ及び市民活動センターを利用し、ホッケーのまち飯能をPRしている。 ・関係者に意見を聞きながら「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針を策定した。	<b>&lt;A評価&gt;</b> 基本方針を策定したので期待を上回る。
事業名	新規目標 ホッケーのまちづくり			

## 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

### (1) スポーツ施設の計画的な修繕の実施

#### ① 施設修繕計画の策定

- ・施設の利便性・安全性を向上させるため、更新・修繕を実施するとともに、都市計画課・体育協会と修繕箇所・方法を検討し修繕計画を策定します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		施設の利便性・安全性を向上させるため、修繕計画を策定し、更新・修繕を実施する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・市民体育館屋上防水工事が完成した（24年度継続）。 ・修繕工事 ホッケー場開閉器更新 ・施設修繕箇所等の巡視を行い、体育協会と連携し、施設の利便性・安全性を向上させるための修繕を行った。	<b>&lt;B評価&gt;</b> 予定工期内にすべてが完成したので期待どおり。
事業名	H22からの継続目標 施設の修繕と計画の策定			

### (2) スポーツ施設の効果的な管理運営

#### ① 利用者サービスの向上

- ・効果的な管理運営を行うため、管理運営上の課題について指定管理者と協議し、利用時間の延長など施設の利便性の向上を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		運動施設の利便性の向上とスポーツ関係情報の発信をする。	<b>&lt;達成率 80%&gt;</b> ・美杉台公園運動施設の・月曜（休館日）の開館に向けて検証し、平成24年度からの実施が決定した。 ・体育協会のホームページは目標とした情報掲載件数に達しなかった。	<b>&lt;C評価&gt;</b> ホームページの掲載が目標に達しなかったため期待をやや下回る。
事業名	H22からの継続目標 利用者サービスの向上			

## 4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

### (1) 総括

平成23年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（B評価）」に事業を実施できた割合は、全40事業中25事業あり、全体の62.5%を占めました。また、「期待を顕著に上回る（S評価）」が2事業ありました。一方、「期待をやや下回る（C評価）」は3事業でした。全体としては、良好な事務執行ができたと評価できますが、C評価の事業については、目標を達成できなかった原因等を明らかにし、改善等を図る必要があります。

#### <集計表>

所管課	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	0	0	4	0	0	4
学校教育課・教育センター	0	2	4	1	0	7
生涯学習課	0	3	2	0	0	5
体育課	1	3	1	1	0	6
図書館	0	2	4	0	0	6
公民館調整担当	0	0	3	0	0	3
公民館	0	0	4	0	0	4
郷土館	1	0	3	1	0	5
事業数合計	2	10	25	3	0	40
H22との比較	2	0	△7	0	0	△5
評価の割合	5.0%	25.0%	62.5%	7.5%	0%	100%
H22との比較	5.0%	2.8%	△8.6%	0.8%	0%	—

(参考) 平成22年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	0	10	32	3	0	45
評価の割合	0%	22.2%	71.1%	6.7%	0%	100%

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	120%以上	期待を顕著に上回る
A	105～120%未満	期待を上回る
B	90～105%未満	期待どおり (標準)
C	75～90%未満	期待をやや下回る
D	75%未満	期待を下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、26ページ以降に掲載しています。

## 5 教育委員会の活動状況と評価

平成23年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

### 【主な活動状況】

	項 目	回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	13回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(1回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	21人	
	議事録の公開、広報・広聴活動 の状況	—	議事録(概要)、会議日程を ホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	2回	「入間地区教育委員会連合会 視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	14ヶ所	小学校7校、中学校2校、 公民館4館、郷土館

	項 目	回数等	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	5議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	1議案	「飯能市文化振興会議設置要綱(案)について」
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	13議案	「飯能市立名栗幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	14議案	「平成23年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事に関すること	6議案	「平成23年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	13議案	「奨学生の決定について」ほか
	合 計	52議案	

## 【評価】

開かれた教育行政を推進するため、平成21年度から市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供に努め、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、今後も平成22年度から平成27年度までの計画である「飯能市教育振興基本計画」に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局とさらに連携を強化して計画の実現に取り組んでいく必要があります。

なお、同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成23年度現在の進捗状況は次のとおりです。

### 教育総務課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目標値
						平成27年度
校舎の耐震化率	70.8%	72.9%	80.4%	82.4%	82.4%	100%
屋内運動場の耐震化率	63.6%	63.6%	68.2%	68.2%	68.2%	100%

### 学校教育課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目標値
						平成27年度
基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）	92% (小学6年生)	91.8% (小学6年生)	94.6% (小学6年生)	94.2% (小学6年生)	99.2%	95% (小学6年生)
	86% (中学3年生)	85.7% (中学3年生)	90.8% (中学3年生)	91.9% (中学3年生)	96.7%	95% (中学3年生)
新体力テストで全国平均を上回る項目の割合	61.5% (小学校)	65.6% (小学校)	55.2% (小学校)	全国平均値が未発表のため数値不明		75% (小学校)
	46.3% (中学校)	64.8% (中学校)	68.5% (中学校)	全国平均値が未発表のため数値不明		75% (中学校)

### 生涯学習課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目標値
						平成27年度
公開講座延べ参加者数	6,671人	7,291人	7,149人	7,293人	91.2%	8,000人
出前講座開催件数	85件(累計)	90件(累計)	111件(累計)	170件(累計)	100.0%	170件(累計)

### 体育課

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目標値
						平成27年度
スポーツ施設利用者数	289,869人	293,185人	287,173人	288,852人	96.3%	300,000人
学校体育施設開放事業における利用者数	152,711人	153,813人	142,772人	137,776人	86.1%	160,000人
ソーデーマーチ参加者数	13,861人	12,885人	12,007人	12,186人	67.7%	18,000人



公 民 館

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目 標 値
						平成27年度
公民館利用者数	325,007 人	334,092 人	311,306 人	313,824 人	92.6%	339,000 人
公民館学習グループ数	586 団体	591 団体	559 団体	535 団体	78.7%	680 団体
健康づくり推進事業数	59 事業	84 事業	95 事業	98 事業	132.4%	74 事業

図 書 館

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目 標 値
						平成27年度
蔵書数	248,753 冊	252,157 冊	256,299 冊	262,535 冊	87.5%	300,000 冊
年間貸出数	315,622 冊	318,408 冊	320,495 冊	311,821 冊	70.5%	442,000 冊
年間利用人数	70,567 人	72,725 人	73,340 人	71,413 人	72.3%	98,800 人
年間児童(0～18歳) 利用人数	24,651 人	23,705 人	23,413 人	22,924 人	76.4%	30,000 人

郷 土 館

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	達成度	目 標 値
						平成27年度
ホームページアクセス 月平均件数	444.3 件	607.8 件	618 件	635 件	138.0%	460 件
レファレンス※件数	177 件	173 件	184 件	118 件	59.0%	200 件
資料利用件数	122 件	134 件	129 件	121 件	93.1%	130 件
資料整理件数	225 件	414 件	168 件	188 件	81.7%	230 件
出張授業受講延べ人数	1,053 人	713 人	645 人	676 人	61.5%	1,100 人
入館者数	27,151 人	27,426 人	28,074 人	29,629 人	105.8%	28,000 人

※レファレンス…利用者の求めに応じ、その調査・相談等に対し資料等を使って援助すること。

## 6 評価懇話会委員の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育委員会評価懇話会を開催し、各委員から次のようなご意見をいただきました。

<点検・評価全般について>

- ・昨年度に比べ新規事業が減っているので、今後は新規事業を増やすように心掛けてほしい。
- ・達成率が数字で示されており、わかりやすくなった。
- ・平成24年度の評価シートから推進計画書をつけたので、事業の進行状況を確認しやすくなった。
- ・年度の早い時期に実施する事業については、実施した事業の結果と翌年度の事業に向けてのプロセスの両方を評価する。

<評価結果について>

- ・標準となるB評価以上の事業が90%以上あり、おおむね良好に事業が実施できていると思う。
- ・S評価の事業が2つあり、A評価の中にも目標値に対して大幅に上回った数値となっている事業もある。これらの事業は大変良い成果を挙げている。
- ・C評価になった事業については、今後の課題等を整理し、翌年度以降の事業展開につながるようにしてもらいたい。

## 7 おわりに

今年度で4年目となる教育委員会の点検・評価については、おおむね良好な事業執行であるという評価懇話会でのご意見をいただきました。これは「飯能市教育振興基本計画」に基づき、中・長期的な視点から、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるよう目標を設定し、事業展開を行ってきた成果であると言えます。

一方、事業評価については、数値目標や達成度を明確にするなどして、より分かりやすい評価を行うよう努めてまいりましたが、課題等を明確にし、翌年度以降の事業へ反映させることが必要であるとのことご指摘を受けました。

今後、教育委員会では、このようなご意見を踏まえ、点検・評価を通じ、課題等の改善及び事業展開を図るとともに、引き続きより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

## 平成23年度 教育行政の重点施策の評価結果

## 1. 教育総務課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課	平成22年度に実施（西中校舎については、平成23年度に繰越した耐震診断の判定結果に基づき、小・中学校耐震化計画を見直し、実施計画、予算に反映させる。	・耐震診断の判定結果に基づき、小・中学校の耐震化の優先順位を決め、平成27年度までの耐震化計画を見直す。 ・財政状況が厳しい中で、耐震補強工事だけでなく、改修工事をどこまで実施するのかを含めて見直す。	・耐震化の優先順位を決め、24年度から27年度までの年度ごとの設計、工事の計画を立てる。 ・実施計画に位置付けられるようにするとともに、24年度予算に耐震工事及び設計業務を盛り込めるようにする。	<達成率 95%> 平成27年度までの校舎5校、屋体7校の耐震化計画をほぼ予定どおり実施計画に位置づけた。国の3次補正予算を活用することで、24年3月補正予算で24年度に実施する耐震工事は予算を確保した。	<B評価> ほぼ予定どおり実施計画に位置付けたので期待どおり。  <今後の課題等> 平成25年度から27年度までの設計、工事の予算確保が課題である。
	基本方針	II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます				
	事業名	1 学校施設の整備 H22からの継続目標 小学校耐震補強事業 中学校耐震補強事業				
2	教育総務課	平成22年度からの繰越となっている南高麗小学校校舎耐震補強改修工事及び西川小学校と名栗中学校の空調機設置工事を、事故なく計画通りに完了させる。	・工事期間は夏休みを予定しているが、学校の授業や行事に支障をきたさないようにする。工事エリアと学校エリアを明確にし、安全対策を徹底する。 ・工事については建築課に監理を依頼するとともに、建築課や学校、業者と定期的に打合せを行う。	事前の契約手続等を早めに行い、夏休み中に工事が完了できるようにする。	<達成率100%> 南高麗小学校校舎耐震補強改修工事、西川小及び名栗中の空調機設置工事ともに予定どおり完了した。	<B評価> 予定どおり工事が完了したので期待どおり。  <今後の課題等> 平成23年度で事業完了
	基本方針	II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます				
	事業名	1 学校施設の整備 新規目標 南高麗小学校耐震補強改修事業ほか				
3	教育総務課	原市場小、吾野小の通学バスの委託の方針を決め、24年度予算要求及び契約手続に備える。	市全体の交通政策とも係ることであり、市長部局との連携を図りながら委託の方針を決定する。	平成24年度からの通学バスの委託の方針を予算要求の時期までには決定する。	<達成率100%> 国際興業㈱飯能営業所の撤退の表明を受け、2年間の長期継続契約による随意契約を行うこととし、4月から運行できる体制を整えた。	<B評価> 平成24年度から2年間の委託契約の準備を整えたので期待どおり。  <今後の課題等> 国際興業㈱飯能営業所の撤退による影響やその後の方向性を判断し、対応する。
	基本方針	II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます				
	事業名	1 学校施設の整備 新規目標 小学校通学バス運行事業				
4	教育総務課	学校給食検討委員会報告書の結論を実行するための委託導入方針の作成をする。	・学校給食検討委員会の報告書では、基本的な考え方のみしか標記されていないため、より具体的な実施スケジュール及び具体案を作成する。 ・学校教育課、政策企画課と連携を図る	平成23年度中にスケジュール及び実施予定案をまとめた委託導入方針を作成し、定例会に報告する。	<達成率100%> ・9月から11月の学校給食委託検討会を開催し、委託に対する問題点の検討及び対象校を選定した。 ・埼玉労働局と事前に協議し仕様書を作成した。 ・平成24年1月定例会において平成25年4月から委託する3校を提案し議決をいただいた。	<B評価> 委託の方針と委託する3校が決定したので期待どおり。  <今後の課題等> ・学校関係者、保護者に対しての説明会を開催する。 ・委託業者との契約方法の検討が必要。
	基本方針	II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます				
	事業名	1 学校施設の整備 新規目標 学校給食民間委託事業				

2. 学校教育課・教育センター

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	学力に関する課題 である「活用する 力」を重点として、 学校と家庭、地域が 連携して取り組み学 力を向上させる。	①K4KID宣言に基 づく成果をあげた学校 の取組を広げていく。 ・授業改善の視点K4 のうち「豊かな活動」 に重点を置き、学校訪 問により指導・助言す る。 ・家庭での取組KID のうち「家庭学習」に 重点を置き、学校を通 じた家庭、地域との連 携した取組を実施す る。 ②「全国学力学習状況 調査」「埼玉県小・中 学習状況調査」「教育 に関する3つの達成目 標」を実施し結果を分 析し学習改善を進め る。	「教育に関する3つの 達成目標」の検証結果 (3月)で前年度比向上 校70%を達成指標と する。	<達成率 99%> ・「教育に関する3つ の達成目標」前年度比 向上校 小中全体で69.2% 達成	<B評価> 目標をほぼ達成でき たので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 学力向上プロジェクト					<今後の課題等> 次年度はK4の視点 のうち、第3・4段階 の「確認」「価値付 け」に重点をおく。
2	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	先人の努力や生き 方について学ぶ郷土 学習資料を作成し小 学校に配布する。	平成22年度に作成 した原案を基にして、 小学校高学年の読み物 資料にふさわしい文 章、語句等を検討し、 副読本作成を行う。	平成24年度に各学 校に配布できるように 印刷製本する。	<達成率105%> ・郷土学習資料の配布 完了 ・指導略案集も発行、 期待以上の成果	<A評価> 指導略案集も発行し たので期待を上回る。
	事業名 H22からの継続目標 郷土学習資料の作成					<今後の課題等> H24は、各学校に おける資料集の活用 に重点をおく。
3	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 1 生きる力を育む 教育指導の充実	新体力テストの総 合評価を向上させ る。	・小学校では反復横跳 びとシャトルラン、中 学校では握力と上体起 こしを重点として強化 の取組を実施する。 ・新体力テストの結果 を分析し、教職員と保 護者向けの資料を作成 し重点を決めた取組を 行う。 ・授業研究会を実施 し、成果を全校に広め て体力向上を進める。	新体力テストの各学 校の総合評価が県の目 標値を上回る校数7割 以上にする。	<達成率 90%> ・新体力テストの各学 校の総合評価が県目標 値を上回った校数は6 4% ・H23重点取組種目 小：反復横とび、シャ トルランとも県平均と 同程度に向上 中：握力、上体起こし ともに県平均と同程度 に向上	<B評価> 達成目標を概ね達成 したので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 体力向上の推進					<今後の課題等> H24は、小学校の 上体起こしを引き続き 重点種目とする。
4	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 2 幼稚園・学校経営 の充実	環境教育、キャリ ア教育等と関連させ た学習林活用教育を 実施させる。	・各学校で作成した、 学習林活用教育の全体 計画と年間計画の見直 しを指導・支援する。 ・各学校の代表による 担当者会議を開催し、 取組の交流を実施す る。 ・農林課と連携し事業 を進める。	・学習林活用フォー ラムで、環境教育、キャ リア教育等と関連させ た学習林活用教育の成 果を2校が発表し、各 学校が交流する。 ・森林文化サミット で、学習林活用教育の 成果を発表する。	<達成率100%> ・学習林活用フォー ラム、森林文化サミット の成果発表は期待ど おり完了 ・一中が名栗元気プラ ザで間伐作業を実施 し、その材でベンチを 作成、公民館に寄贈	<B評価> 達成目標を概ね達成 したので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 学習林活用教育推進 事業					<今後の課題等> H24以降は、市街 地にある学校の学習林 活用教育に重点をお く。
5	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成 する学校教育に 取り組みます 2 幼稚園・学校経営 の充実	全中学校区で小中 連携プランに基づい た事業を実施させ る。	昨年度作成した市内 2中学校区の小中連携 モデルプランを参考 に、残り6校の実態に 応じたプラン作成につ いて指導主事が支援す る。	・6中学校区で小中連 携プランが作成され る。 ・各中学校区ごとの連 携した事業が3回以上 開催される。	<達成率 75%> ・小中連携プランの作 成6校中3校(50% 達成) ・各中学校区の連携事 業は年3回実施(10 0%達成)	<C評価> 連携プランの作成が 半数のため期待をや や下回る。
	事業名 H22からの継続目標 校区の課題を明確に した連携					<今後の課題等> H24は9年間を見 通した小中連携を推 進する。

6	学校教育課・教育センター	複式学級における教育活動を充実させる。 ・小規模校における学校間交流を実施するための諸条件について、学校とともに研究、整備していく。 ・複式学級における学習指導について学校とともに研究していく。	・複数の小規模校の児童を一カ所に集めた合同授業を実施する。 ・複式学級を活かした次年度の教育課程が編成される。	<b>&lt;達成率105%&gt;</b> ・吾野小、東吾野小、西川小の6年生が西川小、吾野小に集まり、2回の合同授業を実施 ・西川小の合同授業では、吾野中英語担当及びAETによる外国語活動の授業も実施 ・各学校で、複式学級のよさを活かした教育課程を編成	<b>&lt;A評価&gt;</b> 合同授業やH24教育課程の編成が実施できたので期待を上回る。 <今後の課題等> 複式授業のさらなる研究を推進する。
	基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実 新規目標 学校間交流の推進				
7	学校教育課・教育センター	教育活動改善の意欲がわく研修を実施する。 ・教職員の職責に応じた研修会を実施する。 ・研究員を指定し、個別の指導を実施する。 ・理・数の授業力向上のための希望研修会を新設実施する。	・研修会参加者の評価において、相当する評価項目が4.5以上である。(5段階評価) ・理・数に関する希望研修会参加者の評価において、相当する評価項目が4.6以上である。(5段階評価)	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・のべ65回、919人参加の研修会実施 ・全研修会参加者の評価 4.6 ・新規研修会の理、数に関する希望研修会は評価 4.6	<b>&lt;B評価&gt;</b> 評価結果が目標値に達したので期待どおり。 <今後の課題等> 理・数に関する希望研修会を継続し充実させる。 研修会参加者の感想等から、研修内容等を分析し、事業展開に活かす。
	基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 3 教職員の資質の向上 H22からの継続目標 教育センター研修の実施				

3. 生涯学習課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	基本方針 Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し家庭・地域と連携した教育に取り組めます	子どもたちの自主性、社会性及び忍耐力を養うとともに、集団生活を送る中で基本的な生活習慣を身に付ける。	・精明小5・6年生対象の通学合宿において、あいさつと感謝・早寝早起き朝ごはんの習慣が身に付くよう指導を行う。 ・参加児童に対して生活チェックシートを実施して実践度を比較するとともに、退所後1ヶ月に保護者へ定着の度合いをうかがうアンケートを実施する。	参加児童の生活チェックシートにおける実践率および保護者へのアンケートの定着率において、あいさつと感謝、早寝早起き朝ごはんの二項目それぞれ70%以上を目指す。	<達成率110%> 定着率調査の結果、あいさつ92%、感謝92%、早寝100%となり通学合宿事業の成果があった。 また、24年度は双柳小児童を対象に実施することで小学校および公民館に了解をいただいた。	< A 評価 > アンケートによる定着率が目標を超えたので期待を上回る。  <今後の課題等> 24年度以降も各館での実施が拡大されるよう、生涯学習課としてもサポートを行ってゆく必要がある。
	事業名 H22からの継続目標 通学合宿における早寝早起き朝ごはん等の実践					
2	基本方針 Ⅳ「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます	職員が専門的知識を提供することにより市民の生涯学習の一助とするとともに、市民の積極的なまちづくりの参加を促す。	庁内・庁外へのPR強化を継続するとともに、申し込み窓口を各課直接から生涯学習課に一本化し、市民のニーズを的確に把握し利用しやすい体制にする。	年間利用回数25回を目指す。	<達成率110%> PRを継続し、より幅広い利用と庁内各課の協力が得られ、利用数が増える形となった。23年度の利用数は59回で目標を大きく上回った。希望の多いテーマは防犯のまちづくり、市街地活性化、文化財の出張授業等である。	< A 評価 > 達成目標を超える利用件数があったので期待を上回る。  <今後の課題等> 出前講座はPRの継続により、ようやく庁内外の認知度が高まってきた。24年度以降も各課の協力をいただき、同様の取り組みを行いたい。
	事業名 H22からの継続目標 生涯学習出前講座の実施					
3	基本方針 Ⅳ「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます	青少年健全育成および子ども体験の要素を加え、世代を超えた相乗効果を図る生涯学習フェスティバルを実施する。	社会教育委員、公民館運営審議会委員、子育てアドバイザーなどを中心とした実行委員会や公民館と連携し、年度末に実施する。参加者および来場者に対してアンケートを実施し、満足度を図る。	参加者・来場者アンケートの「良かった」の割合70%以上を目指す。	<達成率100%> 天候が悪い中での開催であったが、内容を工夫・充実させたこともあり来場者は前年度の約55%増（一般来場者239人）となり、アンケートの結果でも「良かった」の回答が70%であった。	< B 評価 > 達成目標を概ね達成したので期待どおり。  <今後の課題等> 今回はこれまでになかった多くの要素を取り入れ、規模の大きなフェスティバルとして生まれ変わった。反省点として開催時期等を検討し、さらに多くの市民に参加してもらおう工夫する。
	事業名 H22からの継続目標 生涯学習フェスティバルの実施					
4	基本方針 Ⅳ「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます	市民の文化財への関心を高めるため、市内の文化財めぐりを実施する。	これまでに刊行されている文化財印刷物を活用し、市内の文化財めぐりを実施する。印刷物の活用を目指すと同時に、市民が文化財に親しむきっかけを作ります。バスでのめぐりとともに、将来的にウォーキング形式のめぐりも検討する。	・文化財めぐりとおして、市民の文化財への関心を高め、歴史を感じることを目指す。親子文化財めぐり、市民の文化財めぐりを実施する。 ・参加者をそれぞれのバスの定員（25名）までとする。	<達成率100%> 夏休み中に親子文化財めぐりを実施し、一般市民対象の文化財めぐりを3月に実施した。参加者に指定文化財をはじめとする身近な文化財を学習してもらい良い機会となった。また文化財マップや指定文化財冊子を学習資料として参加者に配付した。	< B 評価 > 文化財めぐりを実施したので期待どおり。  <今後の課題等> 今後は参加者の興味を引くような見学内容の工夫や開催日の検討を行う。また庁用バスの状況やウォーキング形式や他の交通手段等でのめぐりも検討する必要がある。
	事業名 H22からの継続目標 文化遺産の普及活用					
5	基本方針 Ⅳ「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます	埋蔵文化財活用の継続性を図るため、展示コーナーの現状を改める。	・展示による埋蔵文化財の普及活用をめざす。市民の新たな関心を引き起こすために展示の内容を変更する。 ・その地域の代表的な出土品またはできるだけ新しい出土品を展示する。	双柳学習センター、第2庁舎分室の展示を変更する。原市場小、加治中、喜楽里別邸、飯能老年病センターの展示を充実させる。	<達成率110%> 予定していた施設の展示については、展示替えや展示の充実等を予定通り実施することができた。また、年度当初に予定はなかったが、発掘調査の現地説明会を開催することができ、多くの市民に身近な歴史に触れる機会を創出することができた。	< A 評価 > 発掘調査の現地説明会を実施したので期待を上回る。  <今後の課題等> 展示の更なる充実を目指しつつ、施設に訪れる機会のない市民に対して、別の方法（市ホームページへの掲載等）での普及活用を図り、郷土に対する愛着を醸成していく必要がある。
	事業名 H22からの継続目標 埋蔵文化財の展示活用					

4. 体育課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	・健康づくり推進室、体育協会、公民館と連携し、市民参加の拡大を目指す。 ・健康な生活を送るための体力維持と向上を目的に、新たに『バランスDE若さアップ』を開催する。	・各講座定員の90%以上の参加者。 ・健康づくり推進事業の参加者、前年度10%増。 ・公民館主催のウォーキング行事への指導員派遣。	<達成率110%> ・各講座について公民館との共催により、予定どおり開催し、90%以上の参加者を得られた。 ・市民健康ウォークメイン大会を、精明地区・飯能中央地区で開催し、好評であった。 ・市ホームページを利用し、健康づくり事業のPRを行っている。 ・公民館主催のウォーキング行事への指導員派遣	<A評価> 達成目標以上の参加者があったので期待を上回る。  <今後の課題等> ・エクササイズウォーキングを中心に計画的な健康体力づくり事業の展開が必要である。 ・市民参加の拡大を目指すため、公民館、健康づくり推進室、体育協会との連携が必要である。
	事業名 ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進					H22からの継続目標
2	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適な大会を実施する。また、第10回大会に向けた企画案を策定する。	・災害復興応援ウォークとして開催する。 ・コースの見直しと整備。 ・第10回大会に向けた企画と実行委員会の早期開催。 ・事務処理の効率化を検討する。	・参加費の一部を義援金とする。 ・募金箱の設置。 ・第10回大会の企画案の決定。 ・事務改善の実施。	<達成率110%> ・第10回大会の吾野コースを中心に、コース部会によるコース下見及び改善を実施した。 ・第9回大会の反省を活かしながら、第10回大会が記念大会としてスムーズ且つ盛大に開催できるよう準備を進めている	<A評価> 予定どおり大会を開催し、吾野コースの準備もできたので期待を上回る。  <今後の課題等> ・インターネットによる参加申し込みを行うため、朝日新聞社と綿密な調整を行うことが大切になる。 ・コースの危険箇所を確認し、安全対策を進める。 ・災害復興応援を引き続き行う。
	事業名 飯能新緑ツデーマーチ					H22からの継続目標
3	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。また、第10回大会に向けた企画案を策定する。	・参加チームの決定方法（承認後の取消対応等）について、陸上競技協会等と再検証をする。 ・競技車両の運行計画等について危機管理の面から再検証する。 ・第10回大会に向けた企画案の策定。 ・事務処理の効率化を検討する。	・参加チーム数の上限220チームを目指す。 ・競技上の事故"0"を目指す。 ・第10回大会の企画案の決定。 ・事務改善の実施	<達成率120%> ・第10回大会の企画として、特別ゲスト、有名選手、チームを迎え、記念大会を盛り上げることができた。 ・関係各位の協力により、競技上の事故も無く、多くの観客の応援もあり、盛大に開催することができた。 ・出場チームの上限220チームに対し、268チームの応募があった。	<S評価> 有名選手、チームの参加により盛大に開催できたので期待を顕著に上回る。  <今後の課題等> ・申込チームの増加に伴い、参加チームの決定方法について、陸上競技協会等と検討していく。 ・反省点を整理し、参加チームが安心して走れる環境と運営方法の効率化を検討する。
	事業名 奥むさし駅伝競走大会					H22からの継続目標
4	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実	ホッケーが市民スポーツとして更に盛んになるよう、小・中学校巡回ホッケー教室等の普及事業やPR活動を実施し、『ホッケーのまちはんう』を推進する。	・専門指導員を配置する。 ・各小中学校と調整を取りながら専門指導員による巡回ホッケー教室を開催する。 ・ホッケーのPR活動の方法について検証する。	・専門指導員による巡回ホッケー教室の開催。 ・小学校：8校以上 ・中学校：2校以上 ・体育協会ホームページや市ホームページを活用したホッケーのPR活動を実施する。	<達成率105%> ・巡回ホッケー教室 小学校：7校 中学校：1校 目標値の達成には至らなかった。 ・市ホームページ及び市民活動センターを活用したホッケーのPR活動を引き続き実施する。 ・関係者に意見を聞きながら「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針を策定した。	<A評価> 基本方針を策定したので期待を上回る。  <今後の課題等> ・市ホームページや市民活動センターを活用したホッケーのPR活動を引き続き実施する。 ・「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針により『ホッケーのまち飯能』を推進する。
	事業名 ホッケーのまちづくり					新規目標
5	基本方針 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上	施設の利便性・安全性を向上させるため、修繕計画を策定し、更新・修繕を実施する。	・都市計画課、体育課による施設修繕を体育協会と連携して実施する。 ・利用者アンケートを踏まえた修繕計画の見直し。 ・総合振興計画実施計画と連携した修繕計画の見直し。	・市民体育館屋上防水工事の完成 ・修繕工事の予定工期内完成。 ①市民体育館空調機取付：6月末 ②市民プールシャワー設置：6月末 ③ホッケー場開閉器更新：10月末 ・施設修繕計画の見直し。 (総合振興計画実施計画と連携)	<達成率100%> ・市民体育館屋上防水工事が完成した(24年度継続)。 ・修繕工事 ホッケー場開閉器更新 ・施設修繕箇所等の巡視を行い、体育協会と連携し、施設の利便性・安全性を向上させるための修繕を行った。	<B評価> 予定工期内にすべてが完成したので期待どおり。  <今後の課題等> ・市民体育館屋上防水工事については、次年度も継続して実施する。 ・引き続き施設修繕箇所の巡視を行い、都市計画課、体育協会と連携し、修繕箇所・修繕方法等を検討する。
	事業名 施設の修繕と計画の策定					H22からの継続目標

6	基本方針	<p>1 スポーツ・レクリエーションの振興に取り組めます</p> <p>2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上</p>	<p>運動施設の利便性の向上とスポーツ関係情報の発信をす</p>	<p>・体育協会のホームページなどを利用してリアルタイムに情報発信する。</p> <p>・予約システムについて検証する。</p> <p>・月曜開館をする上でのメリット・デメリットの検証を行なう。</p>	<p>・体育協会のホームページへの情報掲載件数月1回以上。</p> <p>・月曜（休館日）開館の試行。</p>	<p>&lt;達成率 80%&gt;</p> <p>・美杉台公園運動施設の・月曜（休館日）の開館に向けて検証し、平成24年度からの実施が決定した。</p> <p>・体育協会のホームページは目標とした情報掲載件数に達しなかった。</p>	<p>&lt;C評価&gt;</p> <p>スポーツ関係情報の発信が目標に達しなかったため期待をやや下回る。</p> <p>&lt;今後の課題等&gt;</p> <p>・スポーツ関係情報のリアルタイムな情報発信のため、体育協会ホームページの充実が求められる。</p> <p>・月曜開館の結果を踏まえ、全運動施設の月曜開館に向けて問題点・課題を整理する。</p>
	事業名	<p>H22からの継続目標</p> <p>利用者サービスの向上</p>					



5. 図書館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでなのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	時代の変化や多様な学習ニーズに応えられる新図書館建設に着手する。	・平成22年度中に設計が完了していないので年度早々に設計を完了する。 ・平成23、24年度の継続事業として建築課と新図書館の建設に向けて協議を行う。 ・12月議会を目前に契約の締結をする。	平成24年1月には新図書館の建設に着手する。	<達成率100%> ・10月に建築工事、電気設備工事、機械設備工事の入札を行った。2件の入札が成立し、本体の建築工事が不調であったが、3回目の入札で成立となった。2月臨時議会で契約承認により、業者間の打合せを行い当初からの工期で終了できるようなスケジュールを組むことができた。	<B評価> 2月臨時議会で契約が承認されたので期待どおり。  <今後の課題等> 建築、電気設備、機械設備工事契約が無事整い着工の運びとなった。25年2月末完成でのスケジュールも組むことができた。工期に遅れが生じないよう設計監理会社、建築課と打合せをしていくことが肝要である。
	新規目標 新図書館建設に着手する					
2	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 1 生涯学習推進体制の整備	新図書館開館に向けてサービス・運営計画を作成する。	・新図書館基本計画を基に、職員の意見を反映させサービス計画の骨子をまとめる。 ・建設の進捗状況に合わせて運営についての検討を加え、骨子案、最終案の順に2年計画で作成する。	平成24年3月までに骨子案をまとめる。	<達成率100%> 職員意見を反映し、11月と3月の図書館協議会へ諮り意見をいただき骨子案としてまとめた。	<B評価> 骨子案をまとめたので期待どおり。  <今後の課題等> 骨子案の提示ができたので、今後教育部、市長部局との調整をし新図書館の運営の基本となるよう策定をしていく。
	新規目標 新図書館サービス・運営計画の策定					
3	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	・新図書館開館に向けて資料の見直しをし、地階書庫内の資料の整理をする。 ・視聴覚資料の収集について検討し整備を進める。	・地階書庫内の登録資料、未登録資料及び寄贈資料を「飯能市図書館資料収集方針」「飯能市図書館資料除籍基準」に基づき整理する。 ・視聴覚資料を総合振興計画実施計画へ盛り込み次年度に予算確保をする。	・地階庫内の資料を要、不要に分類整理するとともに有効活用と廃棄等をし、整理をする。 ・総合振興計画実施計画に視聴覚資料の必要経費等を盛り込み予算化する。	<達成率105%> ・書庫の資料を整理し、不要の分類をし、寄贈されていた本の整理も行い10月と2月に市民への無料配布を行った。総冊数は1,108冊であった。24年度予算に視聴覚資料を予算化することができた。	<A評価> 寄贈された本の整理もできたので期待を上回る。  <今後の課題等> 新図書館の建物が完成する用途は立ったが運営については大きなウェイトがかかっている。充実した資料の整理と整備、視聴覚資料を揃えデータ化して利用者へ提供する準備など24年度に取り組む課題は多い。
	H22からの継続目標 図書資料、視聴覚資料収集整備を推進					
4	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	月曜日を月1回閉館し、市立図書館、こども図書館等の年間トータルでの利用者数、貸出冊数を昨年度より増加させる。	22年度に引き続き、第3月曜日を閉館するので、月曜日に利用したい方々への周知、浸透を図る。計画停電、節電の関係で休館の検討もされたが、開館時間の延長も含め、あらゆる方々に利用していただき、新図書館開館への期待感を高めたい。	市立図書館、こども図書館等の年間を通しての利用者数、貸出冊数を昨年度より増加させる。 目標値 総利用者数 73,500人 総貸出冊数 325,000冊	<達成率 95%> 東日本大震災の影響による節電等に伴い、閉館日、開館時間に減少が生じ、結果として利用者数、貸出冊数が前年度比較、目標値比較共に減ってしまった。利用者数 71,413人 (目標値比 97.1%) 貸出冊数 311,821冊 (目標値比 95.9%)	<B評価> 概目標値に達したので期待どおり。  <今後の課題等> 今まで、利用状況は若干の増であったが震災に伴う影響から、減少の数値となってしまったのが残念である。
	H22からの継続目標 休館日の月曜日を月1回閉館し利用者サービスに努める					
5	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	図書資料の受渡し、返却サービスを検討し、利用者サービスを向上する。	・市民参加推進センター内に図書資料の受渡し、返却サービスができるよう設置する。 ・各公民館等でのサービス開設についても検討していく。	いつでも、どこでも、だれでもが求める資料を利用できるサービスとして確立する。	<達成率100%> 市民活動センターでの資料受渡しサービスは順調に利用いただいている。3月末で319件526冊の利用があった。	<B評価> 市民活動センターでの利用が順調であったので期待どおり。  <今後の課題等> 市民活動センターでの利用は順調であったが資料と職員が配置された分室としての機能を求める市民の声もあまたである。要望の中でどこまでできるか検討の課題がある。
	新規目標 図書資料の受渡し、返却サービスの検討					

6	図書館	子ども読書活動推進のための各事業ごとの取組計画を実践する。	各課所、団体、学校等と連携し、各取組事業ごとの取組計画に基づき子どもの読書活動が活発に行われるようにする。	取組み計画の活用と実践を行い子どもの読書活動を活発にする。	<達成率105%>	<A評価>
	基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目標として取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標 事業名 「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づいた計画の活用と推進				移動図書館車の巡回に小学校乗り入れを2校組み入れたこと、学校訪問は4校に、こども図書館訪問は幼稚園3園、小学校3校からあり読書活動の活発化が図られた。	幼稚園、小学校読書活動の活発化が図れたので期待を上回る。 <今後の課題等> 移動図書館を小学校2校に新たに乗り入れ、学校をあげての協力をいただき、図書利用の面から子どもの読書環境が整ってきた。こども図書館と学校との連携事業としてまだ取り組むべき事項も多い。

6. 公民館調整担当

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館調整担当	災害時において、 現地災害対策本部や 避難所として公民館 及び学校体育館が速 やかに機能するよう にする。	飯能市地域防災計画 に基づき、災害時にお いて、現地災害対策本 部や避難所として公民 館及び学校体育館が速 やかに機能するよう、 様々なケースをシミュ レーションし確認す る。	各公民館における災 害時の対応チェック シートで、職員対応の 確認(四半期ごと)を行 う。 館長会議及び担当者 会議で、研修等(3回以 上)を行う。	<達成率 95%>  各公民館において、 災害対応マニュアルを 作成し、災害時の対応 チェックシートを基に 職員の災害対応への意 識向上を行うことがで きた。 また、館長会議及び 担当者会議で、通算8回 にわたり災害に関する 研修等を行った。	<B評価>  チェックシートを基 に職員の意識向上がで きたので期待どおり。
	基本方針 IV「生涯学習のま ち・飯能」を指 して取り組み ます 2 生涯学習機会の 充実					<今後の課題等>
	事業名 H22からの継続目標 公民館における防 災・防犯対策					
2	公民館調整担当	市民が健康づくり 事業に、参加しやす くなるような方策を 講じる。	市民の健康づくりの 底辺を広げる方策につ いて関係課とともに検 討し、公民館で効果的 に推進できるようにす る。	各地区において、市 民が身近な健康づくり 事業に参加できるよう 関係課と検討し、地域 団体等と連携しなが ら、公民館事業への参 加者増員(対前年度比) を図る。	<達成率100%>  スゴ足イベント指定 事業が見直され、参加 人員の増員が図られ内 容は充実したものと なった。 地域団体、関係課と 公民館の連携が、うま くいぎ更にウォーキン グ人口の増員が期待で きる。 参加者人数7,131人 (前年度6,926人) <3月 末現在>	<B評価>  ウォーキング参加者 が増えたので期待ど おり。
	基本方針 IV「生涯学習のま ち・飯能」を指 して取り組み ます 2 生涯学習機会の 充実					<今後の課題等>
	事業名 H22からの継続目標 公民館における健康 づくり推進事業					
3	公民館調整担当	公民館を生涯学習 及び地域コミュニ ティの拠点施設とす る。	公民館の役割りにつ いて、公民館職員及び 関係課とともに検討 し、今後、公民館で行 う業務を明確にし、そ れを実施するための体 制づくりについて検討 する。	生涯学習及び地域コ ミュニティの拠点施設 として、公民館の活用 と今後のあり方につ いての方策と職員体制 についてまとめる(9月 末日までに)。	<達成率 95%>  地区行政センターの 設置・運営の審議が、 行政経営会議で行わ れ、公民館運営審議会 に諮問し答申を受け、 教育委員会定例会で議 決を得た。3月市議会 定例会に地区行政セン ター設置条例(案)と 公民館設置及び管理条 例の一部改正(案)が 可決された。	<B評価>  地区行政センターの 設置が決定したので期 待どおり。
	基本方針 IV「生涯学習のま ち・飯能」を指 して取り組み ます 2 生涯学習機会の 充実					<今後の課題等>
	事業名 H22からの継続目標 公民館の活用と今後 のあり方に関する検 討					

7. 公民館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	地域のニーズや社会の変化に応じた講座を開催することにより、生涯学習の拠点施設としての充実を図る。	地域の特性を生かした講座の開設や、市民の要望に応じた講座を開催することで、地域課題への方策と市民満足度の向上を図る。	市民の要望や前年開講した講座の受講状況を踏まえ、年度内に1講座以上を開催する。	<達成率 95%> 東日本大震災の影響で、休館等があったにも関わらず、各館とも講座開催ができた。新たな視点から講座の見直しにも取り組まれた。	<B評価> 各公民館で講座が開催できたので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 学級講座の充実					<今後の課題等> 地域課題やまちづくりについての講座設定を一層考えていく必要がある。開催についての工夫も要するであろう。
2	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	市民が心身ともに元気に地域活動に参加できるよう、地域住民の健康増進を図る。	市民の健康に対する意識が高まる中で、様々な健康づくりの機会が求められていることを受け、関係機関と連携し、健康増進に関する講座を開催する。	公民館ごとに作成したウォーキングマップを活用し、地域内外に目を向けながら、健康増進を図ることを目的とした講座を年度内に1講座以上開催する。	<達成率100%> ウォーキング事業については、定着化が進み、更なる広がりも期待される。他事業とのタイアップや他の健康体力づくり事業の実施がなされた。	<B評価> ウォーキング事業が定着してきたので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 健康増進講座の充実					<今後の課題等> ウォーキング事業が浸透してきた中、他事業とのタイアップや関連講座を組み込むなどの展開が考えられる。
3	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	災害時を想定した公民館の運営、管理の体制づくりを進める。	災害発生時を想定した避難誘導、情報伝達の訓練を実施し、安全性を前提として地域防災施設としての避難者受入れ体制の確認を行う。	災害を想定した避難訓練等を、マニュアルに基づき利用者の参加も考慮した形で年度内に2回実施する。	<達成率 95%> 地震に特化したマニュアルを各館とも整備した。また、避難所運営訓練も実施する等、職員、利用者、地区住民の防災意識の高まりに応じることができた。	<B評価> 地震対応マニュアルを作成し、避難所運営訓練を実施したので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 災害対策の充実					<今後の課題等> 様々なパターンや、より実践的訓練が必要と思われる。
4	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設としての位置づけを確立する。	関係課所及び関係者から広く意見を求め、公民館の方向性を確認していく。	9月までに公民館の今後のあり方の具体案をまとめる。	<達成率 95%> 公民館の方向性については、公民館運営審議会、教育委員会内部、館長会議、担当者会議等での説明を経て、答申、意見表明、要望等を行った。	<B評価> 公民館の方向性が決まったので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 地域拠点施設としての整備・充実					<今後の課題等> 地区行政センターの設置により、事業実施にあたり継続すべきものの、見直すべきものの対応を要する。

8. 郷土館

No.	重点施策名	目標	課題・達成方法 (何をどのように するのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	飯能市発行のすべての行政刊行物リストを作成し、必要な刊行物を収集する。	各課に昨年度刊行した行政刊行物リスト作成を依頼し、集計する。不明な点は各課に確認するとともに印刷依頼書と照合して漏れないリストを作成する。図書館や市政情報コーナーに無い刊行物を収集する。図書館・庶務課と協議し、今後の刊行物の保管分担当を決める。	・平成22度の完全な行政刊行物リストの完成。 ・図書館・庶務課・郷土館でそれぞれ保管する刊行物の分担当を決定。 ・上記いずれも保管していない刊行物の収集。	<達成率 90%> 行政刊行物リストを作成し、保管していない刊行物を90%収集した。	<B評価> リストを作成し、刊行物の収集ができたので期待どおり。
	事業名 新規目標 地域資料情報の計画的な収集					<今後の課題等> 行政刊行物の収集体制の確立。
2	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	郷土館ホームページに飯能市昭和史年表を掲載するなど、市民が活用・検索できる情報発信をすすめる。	『飯能昭和史年表』掲載のデータのデジタル化、名栗地区の昭和史のデジタル化をすすめる。ホームページで検索でき、使いやすい掲載方法を検討する。ホームページに掲載する。	郷土館ホームページに市民が活用・検索できるような飯能市昭和史年表を掲載する。	<達成率100%> データのデジタル化を終了し、飯能市昭和史年表をホームページに掲載した。	<B評価> ホームページに掲載したので期待どおり。
	事業名 H22からの継続目標 地域に関する情報発信の推進					<今後の課題等> 他のコンテンツについても情報発信を進める。
3	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	館内で各自が個別に保存している写真などのデジタルデータ等を整理してハードディスクに記録し、館内での情報共有ができるようにする。	各自のパソコン、CD、DVDなどに保存してある写真や事業に関するデータを年度ごとに整理する。 ハードディスクへの保存方法（ホルダーやファイル名など）を検討する。 ハードディスクが館内で共有できるようにIT推進担当と協議し、接続方法を検討する。	現在各自のパソコンで保存している写真や事業に関するデータを整理してハードディスクに記録する。	<達成率100%> 各自のデータを整理し、ハードディスクに記録した。	<B評価> データを整理し、ハードディスクに記録したので期待どおり。
	事業名 新規目標 地域資料情報の整理・共有化					<今後の課題等> 定期的メンテナンスを進めていく。
4	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	名栗民俗資料室の資料を整理・選別し、別の施設に移し、その活用方針を定める。	名栗民俗資料室資料保存活用検討委員会を開催し、保存すべき民俗資料の選定、活用方針の策定を定める。 委員会の決定に基づいて保存すべき資料を選別し、資料の鑑賞後、新名栗民俗資料室（旧森林組合事務所）に移動する。	保存すべき民俗資料を新名栗民俗資料室にすべて移動して保存する。 名栗民俗資料保存活用検討委員会の意見をもとに名栗民俗資料活用方針を9月末までに定める。	<達成率 75%> 保存すべき資料を全て移動した。活用方針を検討中である。	<C評価> 活用方針は検討中のため期待をやや下回る。
	事業名 新規目標 収蔵環境の整備					<今後の課題等> 行政施設、民間施設にかかわらず活用場所を探っていく。
5	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	特別展「飯能戦争」（仮称）を多くの人に見ていただくとともに、来館者が満足できる内容とする。	各種調査成果を生かした、充実した内容で分かりやすい展示とするとともに、広報活動を積極的に展開する。	展示期間中の入館者数が1日平均110人以上とするとともに、入館者のアンケートによる満足度75パーセント以上とする。	<達成率120%> のべ7260人、1日平均154.5人の入館者があった。アンケートの満足度は80%である。図録は期間内に完売し、増刷した。	<S評価> 入館者数が目標以上で、満足度も高く図録の増刷もしたので期待を顕著に上回る。
	事業名 H22からの継続目標 特別展の充実					<今後の課題等> 調査研究を充実し、広報活動にさらに積極的に取り組む。